



ごみダイエツト① 生ごみ減量大作戦

燃えるごみの40%（重量比）以上を占める生ごみをいかに減らすことができるかが、ごみ減量の大きなポイントになります。今回は、生ごみについて考えてみましょう。

感謝し無駄なく大切に使うことがとても大切と考えます。

☆市の生ごみ廃棄量は年間6800トン

日本の食料自給率は41%（カロリーベース）と先進国の中では最も低く、その多くを輸入に依存しているのが現状です。その結果、私たちは豊かな食生活を送ることができません。農林水産省によれば、国内では年間1900万トンもの食品が廃棄され、このうち約6割に当たる1100万トンが家庭から廃棄されています。さらに廃棄された食品の中には、本来食べられるにもかかわらず捨てられているもの、いわゆる「食品ロス」が約200〜400万トン（重量比18%〜36%）含まれていると報告されています。

この食品ロス分約3800トンを無駄なく大切に使い削減すれば、焼却による温室効果ガス（CO₂）の発生量を約1300トン（ごみ焼却1kg当たりCO₂が0.34kgで換算）削減でき、さらにごみ処理経費約1億3千万円の削減が見込まれます。

たぐさんの生ごみを廃棄する国もあれば、世界では食べたとしても食べられず6人に1人が飢えに苦しみ、6秒に1人、子どもが飢えや関連する原因で亡くなっている現実があります。私たちはもつと食品や食材に

家庭でも食品や食材を無駄なく大切に使い、食品ロスを削減するよう取り組むことがとても重要です。

☆さあ、生ごみダイエツトに取り組みましょう！

減量作戦①まずはごみにしない

- ・「買い過ぎない」
- ・：買い物前にメニューを考え、冷蔵庫をチェックしましょう。



- ・「作り過ぎない」：食べ切れる量を調理しましょう。残ったものはほかの料理に作り替えましょう。
- ・「ため込まない」：ため込み過ぎて期限切れにならないよう冷蔵庫をチェックしましょう。
- ・「食べ残さない」：食べ物に感謝し残さずに食べましょう。

減量作戦②生ごみもリサイクルする

- 生ごみを捨てるなんてもったいない！家庭菜園や草花を育てる肥料に変身させるのも有効です。



市内では、農園で野菜作りを楽しむ方がたくさんいらっしゃるようです。なんと自分でも

てた野菜は安心、新鮮、その上生ごみは無駄なく有効に活用することができます。

生ごみ処理機は、コンポストやEM（有用微生物群）菌を使用する容器式、電気乾燥タイプやバイオタイプなどさまざまな機器が市販されています。価格は数千円から数万円と高価なものもありますが、市では生ごみの有効活用とごみ減量を目的に、購入金額の一部を補助する制度がありますので、ご利用ください。

減量作戦③重量を減らす

- ・生ごみの80%は水分です。水気を切ることで重量を減らせます。
- ・台所の流し台に置く三角コーナーを金ざるに替えるとか水気が切れます。
- ・水切りや排水溝にたまった生ごみを捨てる前にひと絞りしましょう。



生ごみの約半分は未開封および未調理の食品です。利用しないで廃棄することは、ごみを買っているのと同じことになります。計画的な買い物、食品や食材を無駄なく使うことにより、家庭での負担軽減、さらに市のごみ処理経費削減および地球温暖化防止に寄与することになります。